



新しい年を迎えました

昨年は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延という脅威に翻弄された1年となってしまいました。今も終息はしていませんが、新しい年を迎えられたことを感謝するとともに、前向きな気持ちで新年をスタートしたいと思います。中津高生は、この1年間、多くの我慢と配慮を繰り返してきました。しかし、不平不満を表に出すことなく、今できることを考え取り組み、そして笑顔で高校生活を送ってくれました。こういった経験は、必ずや将来の糧となり立派な大人へと導いてくれると感じます。

年末、終業の会をオンラインで実施しました。今回は、生徒指導部長の青山先生から情報モラルや今後のコロナ禍でいかに過ごすかを話していただきました。また、ギターマンドリン部、吹奏楽部、陸上競技部の伝達表彰と、読書感想文コンクールの校内優秀者(一部の生徒は県のコンクールでも受賞)の伝達表彰が行われました。よく頑張ってくれました。



伝達表彰もオンラインで中継

高校生のための教職説明会

12月9日(水)の放課後、岐阜県教育委員会の方や現在小学校と特別支援学校で教師として働いている先生をお招きして、将来教師の道を考えている生徒を対象に教職説明会を開催しました。特別支援学校の概要や、大規模小学校と小規模小学校のそれぞれの良さ、教師の仕事の魅力などを熱く語っていただきました。参加した15名の生徒

がメモを取りながら熱心に聞いている姿を見て、将来の岐阜県の子もたちのために教師として頑張りたいと強く感じました。



す。現在2年生は、生徒の興味関心に応じて10個のゼミに分かれて、担当教員の指導のもとディスカッションをしたり、調査したりしながら論文作成に取り掛かり始めました。1年生はクラスごとに論文作成を行っています。この活動を通して、自分の将来の夢や志望する分野についての想いを強め、高校生活をより充実したものにしてほしいと思います。



2年生弁論ゼミで担当教員と議論する生徒

共通テストに向けてラストスパート

12月26、27日(土、日)の2日間、3年生の共通テスト受験者が、本番と同じ日程で演習を行いました。(1日目は地歴公民・国語・英語、2日目は理科、数学)座席もいつもの模擬試験のようなクラスごとではなく、実際の受験番号順に並び、いつも以上に緊張感をもって行いました。同じことを1月9、10日(土、日)にも実施して万全の準備で本番に臨みます。残り2週間ですが、体調管理と最後まで諦めずやるだけの復習をして当日を迎えましょう。コロナ禍であることや、入試制度の度重なる変更で翻弄された3年生ですが、落ち着いて前向きに取り組む姿勢に何度も感心させられました。そのような3年生であればきっと大丈夫!残りラストスパート頑張ろう!

生徒1人1台タブレット始まる

12月初旬に、先行して3年生の1人に1台タブレットが導入されました。1、2年生は1月中旬から使用する予定です。学校教育のデジタル化を進める国の「GIGAスクール構想」の取り組みの1つですが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて岐阜県の公立高校においても一気に加速して整備がされました。



今までの授業の良いところは継続しながらも、タブレットを使用することで可能となる新しい教育活動を行っていきます。年度初めに行ったオンライン授業の時のように、生徒も教員も試行錯誤を繰り返しながらできることから始めて、積極的に使用していければと思います。また、高価なツールを使用できることに感謝しながら大切に使用してほしいと思います。



3年生の英語の授業でタブレットを使用する様子

弁論大会に向けて準備中

中津高校の伝統行事「弁論大会」に向けて1、2年生の準備が進んでいます。弁論大会は、すべての生徒が自分の興味関心のある事や自分の進路に関する事を調べたり、考察したり、アンケート調査したり、外部識者へインタビューしたりすることで自分の知識や考えを深めていきます。それをクラスの仲間の前で語り、クラス代表を選出します。今年度は、2月初旬にクラス代表による学年弁論大会が開催されま

